

「令和の花踊り練り物行列」が行われました

4月20日、千歳町と馬路町の両自治会をはじめ出雲風流花踊保存会や両町内各種団体、亀岡健康体操グループ、亀岡商工会議所青年部、亀岡青年会議所などが参加し、出雲大神宮雨乞い神事千年と出雲風流花踊り復興百年を記念して「令和の花踊り練り物行列」が行われました。午前8時30分に馬路隊が馬路生涯学習センターを出発、続いて9時30分に千歳隊が千歳町自治会を出発、北谷区で合流した後に、出雲大神宮に向かいました。千歳隊は約150人で構成、出雲大神宮の神輿を先頭によつば太鼓、出雲風流花踊保存会と子どもたちが続き、消防千歳分団による丹波七福神の仮装、青少協と子ども会が引くちとせ宝船山車、浴衣を着た女性による浴衣踊りの方々、かめおか元気にし隊、亀岡手づくり甲冑の会とともに、出雲大神宮まで練り歩かれました。江戸時代に行われたとされる雨乞いの練り物行列が鮮やかに再現され、多くの町民も行列を見学されていました。

また、行列後のセレモニーでは、亀岡川東学園の児童も加わっての出雲風流花踊りなどが奉納されました。少子高齢化が進んでいる状況ですが、千歳町にある出雲風流花踊りが末永く継承されていくとともに、私たちの地域が活性化していくことを願って止みません。



～練り物行列に参加して～ 出雲風流花踊保存会 [会長 廣瀬義直さん]

丁度千年前の万寿2年(1025年)、出雲神社で大干ばつ克服の為の雨乞いが行われた、という記録が残っており、101年前の大正13年、一時途絶えていた出雲風流花踊りが、千歳村と馬治村の住民によって復興されました。

この機会に、京都府登録無形民俗文化財〔出雲風流花踊り〕を保存継承していく機運を高め、地域の魅力(歴史、文化、自然、人)が人口減少傾向への歯止めの力と出来るのではないだろうか、という思いから実行委員会が結成され、258年前の総人数約1500人による「丹州馬治村花踊り練り物番附」にある、雨乞いの願済まし(願いが叶ったお礼)の様子を再現して、民俗芸能の保存継承に留まらず、千歳町・馬路町の「地域力」高揚に繋げようと「令和の花踊り練り物行列」の取組が具体化していきました。

千歳町・馬路町の両自治会(全ての区)をはじめ、町内の消防団や子どもを含む花踊保存会など各種団体・グループ、行政、市商工会議所などに加え行列に欠かせない鳴り物として「ミツ辻太鼓」「よつば太鼓」の皆様、そして神社の2基の神輿と担ぎ手の皆様などなど総勢17団体、400名の行列となりました。

そして何より、行列参加者の安全とスムーズな運営に縁の下力持ちとなってお奮闘いただいた要員の皆様や沿道から、神社の境内でご観覧ご声援いただいた全ての皆様に心から厚くお礼申し上げます。

今回発揮できた目標に向かう意気込みとふるさとの愛着を基にして、地域の皆が力をあわせ、貴重な歴史・文化遺産を守り継承していきたいとの思いを強くしています。



令和の花踊り練り物行列に参加して

よつば太鼓 [杉崎房子さん]

よつば太鼓は、民生委員、元民生委員で作る太鼓サークルです。今回は、10名が参加して練り物行列の「鳴り物」として隊列の先頭にたって進みました。移動する車に乗って太鼓をたたくという私たちも初めての経験をしました。太鼓の音があって楽しく賑やかな行列だったなあと思いました。参加したメンバーから、「盛大な行事に参加できて本当に良かった。」「楽しい時間が過ごせた。」という声がありました。



丹波七福神

[消防千歳分団:長原由充さん]

千歳分団は丹波七福神の仮装にて行列に参加、また交通整理にて御協力させていただきましたが事故・トラブル等もなく進行ができたことが大変良かったです。

復興100年の記念の催しに参加することで、100年前の千歳町はどんな風だったのだろうと考えることができました。

歴史ある千歳町・出雲神社の伝統を今後も消防団として守っていけるよう、活動・協力していきたいと再認識いたしました。



浴衣踊り [廣瀬洋子さん]

当日は、行事を成功させようと、役割を果たしておられる皆さんの熱気を肌で感じながら、地域の歴史である「練り物」を現代に蘇らせ、再現する一端を担えたことに満足感がありました。「なぜこの行列が始まったのか」という歴史的な由来にも興味が向き、これをきっかけに、今までより歴史に関心を持つようになると思います。

また、浴衣隊で御一緒した方やお世話になった方々に、お声掛けが増える良い機会になったと思っています。



ちとせ宝船山車

青少協:廣瀬春雄さん 子ども会:名倉優希さん

山車装飾:野中麻千子さん

練り物行列の一員として、丹波七福神さまの乗られる「千歳七福神丸」を、町内の子ども達9名と子ども会の保護者、青少協の役員等計23名が、桜や風船などで華やかに飾られた舟を台車に乗せ、紅白の綱でにぎやかに曳き、パレードしました。約32年前のフェスティバルで作られ、最近では出番がありませんでしたが、今回、実行委員会からの要請で、町内有志のご協力により、船体、装飾など美しく改装頂きました。今後は、宝船まつりなどで展示活躍する予定です。参加の皆さん、ご苦労様でした。(廣瀬春雄さん)

4月20日、令和の花踊り練り物行列が行われ、わたし達子ども会は雨乞いの行事ということにちなみ、かえるの冠を被り、宝船山車を引いて出雲大神宮へ歩きました。子ども達は協力して山車を引き、額にはうっすら汗が滲むほど一生懸命歩いていました。花踊りでは沢山練習したこともあり、緊張しながらも凛々しい子ども達の姿に感動しました。夕方から雨が降り、神様が応えてくださったのかなと実感した1日となりました。(名倉優希さん)



平成時代に作られた宝船を青少協や町民の方で補修させていただき令和の宝船が出来ました、当日は児童達が頑張って引いて下さいました。行列を通じて地域の人々と交流する大切さや、伝統行事を大切に次世代へと受け継いで欲しいと改めて感じる事ができました。(野中麻千子さん)

かめおか元気にし隊 [吉中康子さん]

私たち体操仲間で出雲風流花踊り100周年の練り物行列という記念すべき節目に参加できたことは、大変光栄で忘れられない経験となりました。赤い傘と白いハッピーに身を包んだ22人で、心を一つに踊り、新緑の中を練り歩く喜びを味わいました。地域の伝統と一体となる貴重な機会に感謝の気持ちでいっぱいです。

